



おにぎり通信

2016年 1月2日 (土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

新しい年の最初の訪問にうかがいました。今年も、ささやかな活動ではありますが、みなさんと一緒に歩んでいきたいと願っています。

どうぞよろしくお願いたします。



〈福祉行動報告〉

12月21日 Aさん (60代) 千代田福祉を経て病院に向かわれました。

次回の福祉行動：1月4日(月) 東京駅丸の内北口地下に朝8時30

分までに集合してください。喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵の

ところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてく

ださい。病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグ

ナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は毎週月曜日

(月曜日が祝日のときは火曜日)です。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご

自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか

中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

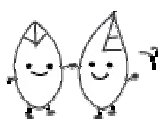
聖イグナチオ生活相談室・千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会内

HUBchari (ハブ・チャリ) という名前を聞いたことがあるでしょうか。
大阪市内で自転車を共同利用できる「シェアサイクル」です。「放置自転車」と「貧困」を解決するためにはじまったもので、1回単位、1日単位、1か月単位でも利用できます。20ある拠点のどこで借りても、どこで返してもいいレンタサイクルの進化版です。

そんな〈ハブ・チャリ〉で使われる自転車の修理やメンテナンスを請け負っているのが、路上生活者や生活保護を受けて暮らしている方たちです。この〈ハブ・チャリ〉活動で今までに(2014年4月時点)57名の方が働き、25名の方が次の本格的就労の場を見つけました。

Aさん(60代)もその一人です。つぎのように語っています。

「50歳を過ぎてのリストラ、面接は不採用ばかり。貯金も底をつき、頼れる身内もおらず、気がつけば路上生活。体調をくずしての入院をきっかけに生活保護を受けはじめました。ちょうどメディアでのバッシングがとても盛んなころで、とても肩身が狭かったです。もちろんハローワークに毎週通うも、最後に働いてから4年も経っていたため履歴書の空白が目立ち、不採用ばかり。働く意欲、自信も落ちていきました。そんなときに、HUBchariを区役所に紹介されて働くように。少しずつ働く量を増やしていき、身体を慣らしていきました。Homedoor(〈ハブ・チャリ〉)を運営しているNPO(法人)のスタッフからのサポートもあり、働く意欲も徐々に上がり、念願の運送業の仕事に就くことができ、生活保護からも脱出できました。今は、HUBchariの仲間が後に続くことを願い、僕がうまくいっている姿を見せられるように仕事に励んでいます」(Homedoorのホームページより)



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。一人でも多くの方に召し上がっていただくため、おにぎりは一人一個でお願いいたします。

四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535